

富山県朝日町

議会だより



第86号

平成27年8月1日



6/28日 五差路周辺複合施設竣工
【とやま朝日町北陸街道 五叉路 Cross Five】

第3回議会臨時会 第4回議会定例会

■ 27年度補正予算など	2～4
■ 代表質問 3名	5～9
■ 一般質問 5名	10～14
■ 常任委員長報告	15
■ 議会日誌 4月～6月	16

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133

☎0765-83-1100(代)

27年度補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計（補正第2号）	補正総額	2,138万円
学校管理費		2,099万円
一般会計（補正第3号）	補正総額	5,448万円
広域行政費		141万円
〇A化推進費		1,180万円
交通安全事業		20万円
簡易水道特別会計繰出金		1,867万円
生活環境施設等整備事業貸付金		2,000万円
水田農業生産振興対策事業		150万円
水産業振興費		90万円

26年度専決補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計（補正第12号）	補正総額	1億8,983万円
一般管理費		△846万円
町制施行60周年記念事業費		△637万円
障害者福祉費		△4,358万円
臨時福祉給付金給付事業		△820万円
児童手当給付費		△1,167万円
保育所運営費		△783万円
乳幼児等医療費		△695万円
環境衛生事業		△631万円
大規模林道整備事業		△522万円
商工業振興事業		△566万円
観光事業		△691万円
道路橋梁維持管理費		△1,258万円
道路橋梁新設改良事業		△1,509万円
住宅管理費		△2,388万円
広域消防費		△1,233万円
元金償還		△1,082万円
利子償還		△1,355万円
財政調整基金積立金		3億399万円
減債基金積立金		1億29万円
福祉環境整備基金積立金		650万円
予備費		1,477万円
特別会計	補正総額	△1億24万円
国民健康保険会計		△5,164万円
後期高齢者医療会計		△644万円
簡易水道会計		△346万円
下水道会計		△4,095万円

第4回定例会

平成27年度補正予算、平成26年度専決補正予算など15議案を可決・承認

平成27年第4回議会定例会は、6月5日から19日までの15日間にわたり開催され、27年度補正予算や26年度専決補正予算などが審議され、原案のとおり可決・承認しました。

また、黒東合口用水組合議会議員選挙が行われ、5人が当選されました。

第4回定例会審議結果

※議決日は6月19日（議案第39号は6月5日）

議案番号など	件名	審議結果
議案第39号	平成27年度朝日町一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第40号	平成27年度朝日町一般会計補正予算（第3号）	〃
議案第41号	平成27年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第1号）	〃
議案第42号	公の施設の指定管理者の指定の件 （朝日町五差路周辺複合施設の指定管理者に朝日町商工会を指定）	〃
議案第43号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第3号 平成26年度朝日町一般会計補正予算（第12号）	原案承認
議案第44号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第4号 平成26年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	〃
議案第45号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第5号 平成26年度朝日町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第46号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第6号 平成26年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第47号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第7号 平成26年度朝日町下水道特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第48号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第8号 朝日町税条例等一部改正の件	〃
議案第49号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第9号 朝日町国民健康保険税条例等一部改正の件	〃
議案第50号	社会資本整備総合交付金事業（特環） 草野・大家庄幹線管渠第546号外2路線 布設工事請負契約締結に関する件	原案可決
議案第51号	防災・安全社会資本整備交付金事業 除雪トラック購入契約締結に関する件	〃
議案第52号	朝日中学校教育用パーソナルコンピューター等購入契約締結に関する件	〃
選挙第2号	黒東合口用水組合議会議員選挙の件	指名推選
請願	平和憲法をこわす「安保法制」に反対する意見書採択を求める請願	不採択
請願	介護報酬引き下げ撤回・介護労働者の処遇改善と人材確保に関する国への意見書 提出を求める請願書	継続審査



朝日町商工会が指定管理者となった五差路周辺複合施設

○黒東合口用水組合議会議員選挙の件
藤塚413番地 大井光男氏
山下22番地 小川慶二氏
山崎2153番地 水野仁士氏
三枚橋282番地 廣田仁氏
平柳148番地 西岡良則氏

人事案件

第3回臨時会

27年度補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計（補正第1号）	補正総額	2,439万円
庁舎維持管理費		162万円
五差路周辺複合施設管理運営費		2,120万円
学校管理費		157万円

平成27年第3回議会臨時会は、4月20日に開催され、平成27年度補正予算など3件が提案され、原案のとおり可決しました。

第3回臨時会審議結果

※議決日は4月20日

議案番号	件名	審議結果
議案第36号	平成27年度朝日町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第37号	五差路周辺複合施設整備事業 建築主体・外構工事請負契約変更に関する件	原案可決
議案第38号	公の施設の指定管理者の指定の件 (朝日町ふるさと移住交流体験施設の指定管理者に笹川自治振興会を指定)	原案可決



7月4日、5日、朝日町文化体育センター「サンリーナ」において、第22回翡翠カップ全国ビーチボール大会が行われ、議会からも「朝日町議会」チームを結成し出場しました。

また、長崎議員、大井議員においても別のチームで参加し、各議員が大会を通じて全国のビーチボール愛好者の方々と親睦を深めました。

**翡翠カップ全国
ビーチボール大会
に各議員が参加
しました**

5月14日、富山県市町村会館において、富山県町村議会議員臨時総会が行われ、会長に水野議長が選任されました。任期は2年間です。

**水野議長が富山県
町村議会議長会長
に就任しました**



議会を傍聴してみませんか！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。日程については、議会事務局にお問い合わせください。ホームページでもご覧になれます。<http://www.town.asahi.toyama.jp/>

代表質問

小・中学生に海を守る義務などの体験学習をさせるべき



小川 慶二 (志政会)

答 各団体や地域の協力により、実情に応じた体験活動を行っている

質問 富山湾は「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟したが、朝日町の小・中学生に、海を守る義務と海から恵みを得る豊かな人間育成のため、海に接した朝日町ならではの体験学習をさせるべきと思うが、その実態は。

答弁 教育長 朝日町では、海の資源の育成や育てる漁業への理解として、朝日町沿岸漁業連絡協議会のご配慮によりヒラメの放流、内水面漁業協同組合によりサケの放流を体験させていただいており、さらに地域の方々のご協力により、冬の川や河川の生き物調査など季節や地域の実情に応じた体験活動の場も設定させていただいているところである。

また、自然保護等の環境教育の立場からは、海岸の漂着物調査と

その回収、海岸清掃ボランティアなど、多方面から自然の保護・保全への取り組みも行っているところである。

一方、学校給食では、ここ数年間、朝日町沿岸漁業連絡協議会のご配慮で、町内全小・中学校において、さざえご飯やたら汁の振る舞いをしていただいている。これは、自然の恵みや地元特産物への理解を深めさせ、お世話をいただいた人々や食材へ感謝の気持ちを育てるよい機会になっていると感じている。

若者たちに海を知り、守り、親しむことを学ばせる必要があると考えるが

答 学校では学習指導要領を踏まえ、教科書等を活用し指導を行っている

質問 海洋国である日本の海洋教育は、国の学習指導要領等で各科目では関連学習をされていると思うが、領海域と領土の保持、海域資源の確保等、成り行き任せであり、若者たちに、海を知り、守り、親しむ、利活用をそれぞれの講義等で学ばせる必要があると思うが。

答弁 教育長 学習指導要領の中からその一例を挙げると、中学校の社会科の地理的分野では、「学習する内容の取り扱い」という項目において、「地域の特色については、我が国の国土の認識を深める上で効果的である」という観点が大切である」と記載されており、また、「領域の特色と変化については、我が国の海洋国家としての特色を取り上げるとともに、北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題にも着目させるようにすること」と示されている。

また、公民的分野では、「世界平和の実現」においては、「領土（領海、領空を含む）、国家主権、主権の相互尊重、国際連合の働きなど基本的な事項を踏まえて理解させるように留意すること」と明記されている。

したがって、学校では、授業者

たちはこれらのことを十分踏まえているとともに、これらのことが明示された教科書、地図帳、資料等を活用して、現在指導をしているところである。

泊駅南口の構想で進入路はどのように考えているのか

答 現時点での起点はコメリ西側横だが、40メートルほど西側となる可能性もある

質問 泊駅南口の構想と周辺整備について、その進入路はどのように考えているのか、また昭和の年代に都市計画として国道8号からの進入路計画があると聞いているが、その後の進展状況は。

答弁 建設課長 平成24年3月に平柳地区より土地区画整理事業の要望が提出されたことから、地元の意向が反映される組合施行により土地区画整理事業計画の策定作業を進めているところである。

事業計画の内容としては、国道8号から泊駅南側の区域約11・4ヘクタールを整備することとし、昭和62年4月に都市計画決定している国道8号から泊駅南側に向かう都市計画道路に加え、あいの風とやま鉄道泊駅南口のロータリー部分も計画に含めることとしている。

道路の計画は、車道幅員9メートル、歩道を両側に配置し、全体幅員が16メートルで全長470メートルとなっている。

現在、国土交通省と交差点位置について協議を行っており、現時点での起点はコメリ西側横となっているが、平柳交差点と一定の距離をとる必要がある。現起点より40メートルほど西側にすべきとの指摘があったことから、道路線形も直線からやや曲線を描く線形となる可能性がある。

駅付近に駐車スペースを確保すべきと考えるが

答 駅西側敷地を整備予定だが、あいの風とやま鉄道と協議事項を整理中

質問 駅前広場の有効活用への整備について、駅付近に駐車スペースを確保すべきと考えるが、どう検討しているのか。

答 菅井 商工観光課長 駅周辺に

おける駐車場は、あいの風とやま鉄道が管理をしている駅東側及び駐輪場の西側の敷地、またアゼリアホール東側の駐車場があるが、これらはいずれも月極の駐車場であることから、駅利用者の利便性の向上やパーク・アンド・ライド

の推進を目的に、平成27年度当初予算において、駅西側の敷地を町が駐車場として整備する費用を計上したところである。

約40台分を確保する予定ではあるが、対象の敷地があいの風とやま鉄道の所有であることから、駐車場の管理運用の方法やあいの風とやま鉄道と既に月極契約を結んでいる利用者への配慮など、施工を前に確認が必要な事項が多く、現在、あいの風とやま鉄道と協議事項の整理を行っている段階である。



泊駅西側駐車場整備予定地

企業用地確保の環境整備 や今後の方針は

答 候補地としてのストックを持つことで企業との信頼関係を構築したい



西岡良則 (グループ22)

質問 企業誘致活動の現況と企業誘致に向けての展望、企業用地確保の環境整備や今後の方針についてどのように考えているか。

答 菅井 町長 企業誘致については、地域経済の活性化や活力あるまちづくり、そして雇用の確保には欠かせない施策であるとの認識から、精力的に働きかけを行ってきた。

直近では、5月20日に大阪で開催されたとやま企業立地セミナーに参加し、朝日町のPRを行うとともに、朝日町出身で関西在住の企業立地アドバイザーを通し、企業訪問を行った。今年度も、秋に予定されている東京、名古屋でのとやま企業立地セミナーに参加し、大都市圏での情報収集、人脈づくりを進めていくほか、あらゆる

機会、可能性を求めて多方面への積極的な活動を継続していく。

また、地元企業への訪問も精力的に行い、今後の協力・支援体制を確認しているが、その中でも、地元企業からの情報提供や取引先の紹介など、ネットワークのさらなる拡大も期待される。

各方面への働きかけを行う中で懸念されるのは、企業から打診があつてから用地交渉、さらには農地関係の手続きを進めた場合に、1年から2年の時間を要するといふスピード感の欠如である。やはり町長みずからトップセールス活動を進める上では、条件の整った複数の候補地を持つことが積極的なPRの大きな後ろ盾となる。農用地区域からの除外や農地転用の手続きは当然必要な作業とし

代表質問

て、それ以前に、最も難題である用地交渉や条件確認などをあらかじめ進めておき、候補地としてのストックを持つということ、地方進出を検討している企業との信頼関係を構築することができるとも考えている。

体験型修学旅行の受け入れ準備状況や問題点は

答 実行委員会を組織したほか、9月までに30軒の協力家庭確保を目指す

質問 東大阪市からの体験型修学旅行の受け入れも、あと1年足らずとなったが、町としての受け入れに対する準備の状況や問題点は。

答 商工観光課長 平成28年

5月25日から1泊2日で東大阪市の中学3年生の修学旅行を当町の一般家庭を通して受け入れ予定であり、5クラス、180名余りの生徒を受け入れることになっていることから、町としては、最低でも50軒、予備のご家庭を含めて70軒程度の受け入れ協力家庭を確保する必要があると考えている。

先般、自治振興会連絡協議会や農業・漁業関係の方、また女性団体連絡協議会、ふるさと体験推進協議会代表の皆様が集まっていた

だき、副町長を委員長とする「民泊推進事業実行委員会」を組織し、受け入れ家庭の確保について協議したほか、今後、各団体より紹介いただく受け入れ家庭募集におけるキーマンと協力して、当面、9月に行われる学校の下見までに、30軒程度の協力家庭から確約をいただくことを目指すとともに、さらなる受け入れ家庭の確保に向けた活動を行いたいと考えている。

広報での受け入れ家庭募集記事の掲載に引き続き、募集チラシを全戸配布させていただいたところ、実際に、受け入れしたいが、何を体験させればいいのか、布団の準備や食事のメニュー、部屋数などについても問い合わせがあり、受け入れまで1年を切ったことから、旅行会社を通して学校側の要望をできるだけ詳細に聞き取りをし、協力家庭に不安が生じないように対応したいと考えている。

不動産遺跡を核とした体験学習を広く発信しては

答 告知の方法を工夫し、広くPRしたい

質問 不動産遺跡での宿泊体験学習について、昨年の8月に町内

の女子児童5人が初めて竪穴住居に1泊をし、古代米の御飯を味わうなど、約5千年前の縄文人の生活体験学習を行ったが、不動産遺跡を核とした体験学習を県内外に広く発信することにより交流人口の拡大が図られるのではないかと思うが、町としての見解は。

答 教育委員会事務局長 昨

年実施した「不動産なつの縄文まつり 竪穴住居で一泊体験！」事業は、不動産遺跡が国の史跡に指定され40年を迎えたことから、不動産遺跡での体験型のイベントを通じて、人と人との交流、縄文の技法の体験、国指定縄文遺跡「不動産遺跡」のPRと活用を目的とした体験学習イベントである。

不動産遺跡、なないろKAN、まいぶんKANの施設を利用し、各施設の職員が協力して縄文土器の野焼き体験、古代米とイノシシ肉の夕食、そして、竪穴住居である2号住居跡での宿泊体験を行った。参加した子どもたち5人と保護者2人からは大変好評であり、ことしも8月15日、16日の両日で、小学4年生以上を対象に実施する予定である。

また、まいぶんKANでは、町の文化財などをめぐるバスツアーを実施しており、昨年度は、町

の内外から専門家を迎えて、「朝日町の巨木めぐり」「朝日町の遺跡めぐり」「朝日町の句碑めぐり」を実施した。

今年度は、「踏出のトチノキに会いに行こう」「鹿島樹叢観察」「狛犬めぐり」を実施予定であり、不動産遺跡での体験学習とともに、朝日町の文化財に接する機会を設けていきたいと考えている。

このように地域の歴史や文化といった素材を磨き上げることで、歴史・文化の豊富な当町にとっては、体験学習からさらなる交流人口の拡大と地域経済の活性化をもたらすよう観光商品化できる可能性があることから、告知の方法を工夫して広くPRしたい。



不動産遺跡

泊高校の将来を考える町 民会議の今後の方向性は



道用昭雄（一步会）

答 泊高校の魅力を高める戦略づくりに取り組みたい

質問 高校再編における泊高校の位置づけと今後について、「県立学校整備のあり方等に関する検討委員会」の経過と現状はどのようなになっているか。

また、「泊高校の将来を考える町民会議」の経過と今後の方向性は。さらに、「地域に一つ高校」を主張する時の方法と運動について、高校が県内に分散することによりあいの風とやま鉄道の集客向上になることなどがあるが、町ではどう考えているか。

答弁 副町長 検討委員会では教育の質を確保するには、4学級以上などの一定の規模が必要との意見が多くあった一方で、3学級を認めていくとした場合には、その条件について十分な検討が必要との意見もあったと聞いている。

県議会2月定例会で石井知事は後期再編実施スケジュールに關し、平成27年度は引き続き検討委員会で議論し、基本的な方向をとりまとめ、方針が決まれば具体的な再編計画を策定する必要がある、その中で対象校や実施時期などが検討されることとなると答弁している。

泊高校の将来を考える町民会議を今後どのように進めていくかについては、6月7日に実施したような講演会の開催、1学年2学級である白馬高校の魅力づくりに取り組んでいる白馬村・小谷村への視察、5月に実施した朝日中学校の生徒・保護者へのアンケート結果を踏まえ、泊高校の魅力を高める戦略づくりに取り組みたいと考えている。

「地域に一つ高校」を主張する時の方法と運動については、今後町民会議の議論は、県への要望と提言に加え、泊高校の魅力化に向けて町は何ができるのか、町のなすべきことについて踏み込んでいくことになると考えており、具体的な運動を展開していく際、南砺福光高校未来創造会議と連携した取り組みも重要であると認識している。

再質問 4学区制の中で富山学区だけ少なくすることに無理があるのではとのことだが理由は。

再答弁 副町長 4区域における学校、学級数と、エリア内で卒業する中学生の数がほぼマッチしているためである。

桜町保育所跡地はどのような活用となったのか

答 建物はおのづくり工房を予定。その他施設は地元要望に対応していきたい

質問 桜町保育所の跡地の活用について、当初地元との話し合いの計画は何であったか。

また、昨年8月の要望書に基づく話し合いはどのような活用となり、その後どのような対応がなされ現在に至っているのか。



旧桜町保育所施設

答弁 商工観光課長 平成26年4月23日付けで五箇庄地区自治振興会から要望書が提出され、その内容は、建物やプールなどの撤去及び整地、桜町公民館の駐車場整備、簡易倉庫の移設及び無償譲渡、除雪体制の現状維持であった。町としては、要望に沿う形で平成26年度中に対応できないか検討していたが、町在住の方より町内外の若者職人のものづくり工房として建物を活用したいとの相談があり、7月に本人より桜町町内会長の方々に思いを伝えたところ、町内会も地域の活性化が期待できることから建物を工房として活用することに了承された。その際、駐車場の整備や倉庫の移設は、工房の整備とあわせて実施すること

代表質問

に了承され、8月20日に改めて五箇庄地区自治振興会、桜町町内会、桜町長生会の連名で建物取り壊しを除く形で要望書が提出された。

今後、商業目的として妥当な賃貸料の決定と施設維持管理等について本人の最終意向も確認しながら町内会の要望に対応していきたい。

再質問 話の筋が出来上がっているのになぜ1年間もかかるのか。

再答弁 商工観光課長 町側の手続きの遅さもあり、建物以外の施設の整備が遅れ申し訳なく思っている。

新消防庁舎の規模と機能は

答 職務環境を整備するとともに訓練塔、消防団の訓練スペースも確保する

質問 新消防庁舎の規模と機能は。

答弁 朝日消防署長 新消防庁舎の整備については、役場の東側に平成29年度中の竣工に向けて進めており、設計を委託する上で、朝日消防署新庁舎建設設計業務プロポーザル審査委員会を設置した。

建設費等の整備費用については、設計業者の決定後、概算費用の提示を受け、基本設計、実施設計を行う中で定まるものと考えて

いる。

施設内部や訓練塔については、女性職員の採用を視野に職務環境を整備するとともに、各種災害に対応するための訓練を行う訓練塔を整備するほか、消防団が行う訓練スペースも確保することにして

物を燃やす場合どのような時に可能か

答 法律により原則廃棄物の野外焼却は禁止されている

質問 自宅付近で物を燃やす場合どのような時に可能か。

答弁 住民・子ども課長 平成

13年4月1日に廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正により、原則廃棄物の野外焼却が禁止されている。ただし、風俗習慣上または宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却、たき火やキャンプファイヤーなど、その他日常生活を営む上で行われる焼却であって軽微なものなどが例外となっている。

しかしながら、近隣の方が煙や悪臭によって不愉快な思いをするなど、環境保全に支障が生じる場合は、法律に遵守しない焼却として扱われる場合もある。

本文に掲載した記事以外の質問

◆小川慶二 議員

- 泊駅南口の構想と周辺整備について
- 駅舎内改善整備の促進について

◆限界集落について

- 廃村になりつつある集落の実態について
- 廃村対策について
- 朝日町高齢者保健福祉計画について

◆計画書を高齢者のいる世帯への広報について

- 健康高齢者の社会参加への促進について

◆西岡良則 議員

- 町政運営について
- 公約実現と町政運営について
- 農業振興対策について
- 空きハウスの有効活用と雇用拡大について
- 公共施設の有効活用について
- 棚山など公共施設の再生について

◆道用昭雄 議員

- 朝日町新消防署の概要と災害や救急への対応について
- 災害や救急への対応について

◆清水真人 議員

- まちバスの運行について
- 利用実績と今後の方針について
- 五差路周辺複合施設の活用について

◆ふれあい広場、まめなけ市場、買い物支援コーナーの具

- 体的活用計画について

「まちなかにぎわい」構想について

◆加藤好進 議員

- 地域づくりについて
- プレミアム付き商品券について

●地域文化の振興について

- 芭蕉句碑の維持管理について
- 郷土芸能への支援について
- 子育て支援について
- 病児・病後児保育について

◆大井光男 議員

- 本年度の各種支援策・対策について
- 空き家対策について
- 婚活支援について
- 健康寿命について

●健康寿命について

- これからの高齢化における健康対策について

◆長崎智子 議員

- 道の駅の誘致について
- 地場産の活用及び安全安心対策の多目的施設について

◆荒尾勇一 議員

- 「平和安全保障法制」について
- 安倍政権の「安全保障法制」についてどう考えるか
- 安倍首相の憲法認識についてどう考えるか
- 自衛隊をどのような存在だと考えるか
- 安全・安心の町づくりについて
- 県道入善・朝日線の拡幅と歩道の整備について
- 消雪装置の点検・整備について

まちバス運行の目的は何のため、誰のためなのか



清水 眞人

答 高齢化社会を迎える中で、まちバスは生活を支える重要なインフラである

質問 まちバス運行の目的は、何のため、誰のための事業なのか。また、ノンステップバスの導入がないのはなぜか。

答 日本社会が急速に高齢化を迎える中で、交通手段の確保、また地域活性化、観光振興、環境問題等への対応の観点から、地域公共交通の確保・維持は非常に重要な課題である。そうした意味においても、現在運行しているあさひまちバスは、住民の生活を支える重要なインフラであると認識している。

とりわけ県内で高齢化率が最も高い当町においては、自家用車等を持たない方や運転免許を返納する方が増えてくることから、その役割は今後ますます重要になってくると考えている。

あさひまちバスの利用者の多くは自家用車を持たない高齢者であり、交通政策に加えて福祉的な側面も大きく、高齢者等に配慮したノンステップバスの導入については、車両更新の際に導入に向けて検討したい。

まちバスの予算の財政負担割合は

答 68%が町の負担。うち8割が特別交付税算定の基礎数値として措置

質問 まちバスの平成27年度予算は、運営費用全体として4千400万円弱を計上しているが、国の特別交付税や県の補助金との財政負担割合はどのようになっているのか。

答 運営費における国の補助金と町の負担割合については、あさひまちバスの運行経費の財源内訳は、運賃収入が約14%、他市町からの負担金が約3%、県からの補助金が約15%で、残る約68%が町の負担となっている。町の負担のうち8割は特別交付税を算定する際の基礎数値として措置をしている。



あさひまちバス

五差路周辺複合施設開発の目的は

答 泊市街部の賑わいを取り戻すための拠点づくりが不可欠である

質問 五差路周辺複合施設開発の目的は何か。また、現時点で想定している直接的受益者の範囲をどのように考えているのか。

答 泊市街部では、後継者不足等から廃業・休業する商店が多く、以前の中心市街地、商店街としての活気が失われつつある。また、高齢者の方の中には、交通手段の確保が難しいことから日常の買い物に不便を感じている方もおり、その対策が課題となっている。

町としては、泊市街部の活性化は町の元気を大きく左右する重要な政策の1つであり、泊市街部の賑わいを取り戻すための拠点づくりが不可欠であると考えており、五差路周辺複合施設を拠点とする「商業・賑わい・ふれあいゾーン」、新図書館を核とした「教育・文化・うるおいゾーン」、福祉センターの再整備による「リフレッシュ・レクリエーションゾーン」といった3つのゾーン整備を柱として、泊市街部のまちづくり施策を進めているところである。また、これら3つのゾーンは、線として、そして面としてつながり合わせることで、泊の街に訪れてみたくなる展開や仕掛けを盛り込み、周辺の住民はもちろんのこと、町内外から多くの方に来訪していただくことで、泊市街部全体の活力と魅力アップにつなげたいと考えている。

ヒスイ海岸周辺整備基本構想の実現に向けて

答 関係住民へ内容を報告し、意識醸成のため勉強会などソフト事業に取り組み



加藤 好進

質問 朝日町ヒスイ海岸周辺整備基本構想策定業務報告書が作成されたが、事業計画の目標は。また、越中宮崎駅舎を観光案内施設として最優先課題として取り組むべきではないか。

答 朝日町ヒスイ海岸周辺整備基本構想策定業務報告書が作成されたが、事業計画の目標は。また、越中宮崎駅舎を観光案内施設として最優先課題として取り組むべきではないか。

答 朝日町ヒスイ海岸周辺整備基本構想策定業務報告書が作成されたが、事業計画の目標は。また、越中宮崎駅舎を観光案内施設として最優先課題として取り組むべきではないか。

この構想をもとに、まずは関係住民へ内容を報告して、意識醸成のために商業者をはじめとした関係住民の勉強会を手始めにソフト事業に取り組むことになっている。

越中宮崎駅の改修を見据えた乗降客の状況調査やヒスイ海岸に対するリサーチも並行して行い、その結果と基本構想を重ね合わせることによって、整備イメージの具現化へと向かうのが最終目標であり、ヒスイ海岸を中心とした朝日町の将来的な観光の発展につなげ

ていく考えである。

越中宮崎駅については、この構想の一部として一体的に取り扱うことが望ましいと考えており、県のあの風とやま鉄道駅舎利活用費補助金の交付年限が平成27年度までであることから、今年度中に



越中宮崎駅

待合室の内装補修や要望のあるコインロッカーの設置など、駅機能の補強を行いたいと考えている。

景観の保護条例制定委員会設置の見解は

答 景観を守るための方策を立てるべきと考えており、協力していきたい

質問 北陸新幹線の車窓からの海、里の眺望や、舟川べり春の四重奏は、世界に誇れる景観である。

しかし、現在の都市計画法、建築基準法等に関連する基本的な規則のほか、県の屋外広告物条例による看板等の規制で一定の効果を有しているが、自家広告等については許可されるなど、景観が乱される可能性が残されている。世界に誇れるこの景観は朝日町の観光財産であり保護するとともに、当町の魅力を情報発信していくことが重要。議会と当局が研究し、景観を保護する条例制定に向けた委員会の設置を提案するが見解は。

答 町長 東京を出発した北

陸新幹線は、大宮、高崎を経て、長野県、新潟県を通過、このあたりは山岳地帯であり、そのほとんどがトンネル区間である。トンネル区間を抜けた後、新幹線は北陸

の玄関口・富山県朝日町に入り、この瞬間、開放感とともに目の前に広がる山々や海、里の眺望は、まさに世界に誇れる景観であり、北陸新幹線沿線の中では大きな見どころの一つであると自負している。

当町には、「ヒスイ海岸」「舟川・春の四重奏」に加えて、この北陸新幹線からの眺望そのものが世界に誇れる町の大きな財産であることを町民が再認識できるように取り組みが必要であると考える中、景観を保護する条例の制定は、まさに時宜を得た提案であり、大変意義深いものである。

一方、新幹線に限らず、乗降客の多い鉄道沿線は、商業的な利用価値も高いことから、特に都市部において、沿線における無秩序な広告看板が乱立しているのが現状であり、この流れが朝日町に押し寄せる前に、町みずから景観を守るための方策を急いで立てるべきと考えており、町内外にアピール効果の高い条例とするためにも、町としてもぜひ協力していきたい。



保育料を第1子半額、 第2子以降無料としては



大井 光 男

答 検証すべき段階であり、特化したこと
とでいいか議論を深めていきたい

質問 子育て支援について、保育料は第1子から半額、第2子以降無料とし、子どもを安心して生み育てることのできる町として、全国、県内にアピールしてはどうか。

答弁 住民・子ども課長 第1子半額、第2子以降無料とした場合、平成27年度当初予算をもとに試算したところ、保育料収入が約3千400万円の減となる。

限られた財源の中で恒久的に減額となる施策については、慎重に対応する必要があります。財源確保や施策の有効性、実効性なども見極めながら検討したい。

再質問 本年度の一般会計75億9千万円の中の、3千400万円であり、町長のいっている県下一の子育て支援をとっていることであれば、予算を特化し、この事業に

予算を集中、選択すればできるとだと考える。町が将来を担う子どもたちに予算を重点に使うことは、将来、必ず朝日町の財産となつて返ってくると考えている。本提案についての見解は。

再答弁 町長 今の段階は、検証すべき段階と思っており、今後特化したことでもいいのかということについて議論を深めていきたいという段階であると思つていて子育て支援は県下一を走つていくと自負している。

再質問 町長 平柳の土地区画整理事業と都市計画道路について町の考えは

答 採算性も踏まえた上で実施に向け支援したい

質問 平柳地区土地区画整理事業

業と昭和62年4月に都市計画決定された都市計画道路の関連について町はどのように考え、事業費負担はどのくらいになるのか。

答弁 建設課長 国道8号線から泊駅南口を結ぶ都市計画道路と組合施工による土地区画整理事業をあわせて行い、道路幅員は16メートル、延長470メートルであり、区画は11・4ヘクタールである。

土地区画整理事業の実施にむけて採算性の検討も踏まえた上で、実施に向けて、積極的に支援していきたい。

再質問 昭和62年の経済状況や人口動態、価値観は現在とは違うと思う。行き止まりの道路が今何故必要なのか。泊駅の利便性ならば、泊駅の形態や利用者数は1日当たり何名か。

再答弁 建設課長 1日当たりの利用者数は745名となつている。南口の形態については、今後協議していくが、高架という形もひとつの方法として案となることも十分考えられる。

再々質問 これから調査が行われると思うが、南口が町にとって必要なかどうか、今後議論が必要かと思う。

土地区画整理について、減歩率

や事業費に対して町の負担はどのように考えているか。

再々答弁 建設課長 減歩率については、近年他自治体で行われているものでは平均40〜60%と聞いている。

財源は、国、県、町の補助金と保留地処分金が実際の財源となつている。

近年この自治体でも公共施設用地として、保留地を買い上げており、当町においても、まちづくり全体を考えると保有地を買い上げる予定としているが、組合には20〜30区画は売却してほしいと常々言っている。

再々質問 約4・6〜6・8ヘクタールが保留地処分になり、組合が売却した残りの区画を町が買い上げることになるが、大きな金額になる。

いま一度議論すべき事案と考える。



平柳地区土地区画整理事業予定地

一般質問

バタバタ茶の茶畑の 枝枯れの原因は

答 剪定での刈り込む量が多過ぎたことなど
悪い条件が重なったと推測している



長崎 智子

質問 バタバタ茶の新芽が3分の1になり、その他は枯れたとのことだが、原因と管理運営、また、今年度の供給の見込みなど今後の対策は。

答 弁 商工観光課長

茶枯れの原因は

いくつか考えられるが、積雪による枝折れを防ぐため剪定作業を委託しているが、一昨年の茶葉の剪定での刈り込む量が多過ぎたことが考えられ、木の勢いが衰え、害虫の発生を促し、また冬の寒さの影響を受けるなど悪い条件が重なったものと推測している。供給量については、今年1年間の乾燥茶葉の量は確保されているので、バタバタ茶を通常どおり楽しんでいただけたらと思う。今後、富山県の気象にあった品種栽培を検討し、土壌改良も含め

専門家の意見を聞きながら栽培方法について再度検討し、町の大切な風習の継承ならびに特産品の存続に努力する。



バタバタ茶の茶畑

**町の名所旧跡が一望できる
看板の設置は**

答 大きさが必要であり、イン
ター付近は安全面からも問
題がある

質問

町の名所旧跡が一望でき

る看板の設置について、看板等整備計画を策定し、整備をすすめるとのことだが、現在の進捗状況は。

答 弁 商工観光課長

朝日イン

ターチェンジ付近で設置できないかとのことだが、朝日町を一望できる看板とある程度の大きさが必要であり、安全面からも設置場所として問題があると思われる。必ずしも看板にとらわれることなく、あらゆる媒体において、最も効果的な観光情報の提供に努めたい。

**パークゴルフ場の芝がところ
どころ枯れているが**

答 刈り込んだ直後は枯れたよ
うに見えるが、現在は良好
な状態である

質問

あさひヒスイ海岸パーク

ゴルフ場について、今年は例年になく良い天候に恵まれていることから、ところどころ芝が枯れている。また、今年度から管理運営が変わったが詳細は。

答 弁 教育委員会事務局長

あ

さひヒスイ海岸パークゴルフ場の管理運営については、指定管理者である一般財団法人朝日町文化・体育振興公社と平成27年4月1日

から6年間の管理運営業務の協定を締結し、運営している。

具体的な管理運営については、これまで朝日町パークゴルフ協会が実施していた施設の開閉場、管理棟、休息所、トイレ、物置及び倉庫の管理、コース内外の管理、利用者の受付などの業務を行っている。

また、コースの芝の刈り込み、除草剤・殺虫剤などの散布、目砂、養生作業など芝を管理する上での専門的な業務については、引き続き芝管理の専門業者に管理を委託している。芝を刈り込んだ直後は枯れたように見える部分もあったが、現在は良好な状態である。

再質問

パークゴルフ場の開

設の目的には、町民の健康増進もあると思うが、車に乗って来られない方のためにまちバスの利用方法の考えはないか。

再答 弁 教育委員会事務局長

施

設側が送迎の車を出すという考えは今のところない。

まちバスについては、自由乗降であり、パークゴルフ場付近で降りることは可能であるが、路線を変えてパークゴルフ場内に乗り入れるかについては検討していきたい。

入札に関し、職員が事情聴取を受け、町は議会側に伝えた」と報じられたが事実か



二 勇 尾 荒

答 一部新聞で報じられたが、そのような事実はない。疑念を持たれたとすれば、職員全体で服務規律の確保に努める

質問

2月13日付けの新聞報道によれば、町の下水道工事の入札に関わり、町職員が警察の任意事情聴取を受けているとあった。

この件につき「町は議会側に伝えた」と報じられたが、これは事実か。

答 総務課長

一部新聞で県警の事情聴取を受けていることを議会側に伝えたがあったが、そのような事実はない。

再質問

新聞社に対してはどのような対処をしたのか。

再答 総務課長

私からその新聞社に対して厳重に抗議するとともに、遺憾の意を伝えた。

再々質問

入札に関わって町職員が関与したという報道につき、町はどのように受け止めているのか。また、独自の調査をしたのか。

再々答 総務課長

議会への

伝達とか事情聴取について触れていた新聞社は1社のみだった。町としては、警察の捜査に關しての調査はできないが、事情聴取されたということに関し、当該職員からは聞き取り調査している。

報道が一部でされ、結果として町民のみなさんに疑念を持たれることになったとすれば、職員全体として服務規律の確保に努めるとともに、公務員として襟を正していく必要がある。

マイナンバー制度のセキュリティや責任の所在は

答 総務省がシステムを責任を持って設置する

質問

住民の基本的情報とし



マイナンバーは平成28年1月から社会保障や税などの行政手続きで使用がはじまります

て、住所・納税・社会保障などが一つの番号で結び付けられ、コンピュータ管理される「マイナンバー制度」が来年1月から運用される。

しかし、日本年金機構や民間企業の例のように、一度に大量の個人情報漏洩や流出が問題となっている。

セキュリティや取り扱いの際の責任の所在はどうなっているのか。

答 住民・子ども課長

国、

都道府県、市町村で情報連携を行うことから、安全、効率的に情報提供する必要があり、総務省が情報ネットワークシステムを責任を持って設置する。

町においては、関係部署による委員会を組織し、情報保護対策に万全を期するとともに、国にたいしては、機会あるごとに情報管理の徹底を求めていく。

再質問

セキュリティが整っているというが、情報流出は起きている。行政機関にとって便利な面ばかり言われているが、情報管理について町民に対してきちんと説明する必要があるのではないか。

再答 住民・子ども課長

町民に対しては、マイナンバー制度等についての内容を広報やいろいろな方法を使いながら細かく知らせていきたい。

常任委員長報告

常任委員長報告

総務産業委員会

当委員会は、6月15日、17日の両日、午前10時から開催し、議会から付託されました全案件を慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり可決、承認すべきものと決しました。

次に請願の審査結果を申し上げます。

今期定例会において、議会から付託されました新規の請願1件、「平和憲法をこわす『安保法制』」に反対する意見書採択を求める請願」については、不採択と決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。

・5月26日に完成しました朝日町ふるさと移住交流体験施設「さゝ郷ほたる交流館」、6月末に竣工を迎える朝日町五差路周辺複合施設や既存の町有施設も含め、より多くの人に活用し

ていただけるように施設の有効活用を図りたい。

民生教育委員会

当委員会は、6月16日、17日の両日、午前10時から開催し、議会から付託されました全案件を慎重審査いたしました結果、それぞれ原案のとおり可決、承認すべきものと決しました。

次に請願の審査結果を申し上げます。

前回から継続審査となっておりました請願1件、「介護報酬引き下げ撤回・介護労働者の処遇改善と人材確保に関する国への意見書提出を求める請願書」については、継続審査と決しました。



朝日町ふるさと移住交流体験施設「さゝ郷ほたる交流館」

議会日誌

四月

- 15日 4市2町並行在来線関係委員長会議
- 16日 東部議会議長協議会総会
- 20日 議会運営委員会
第3回議会臨時会本会議
議員協議会
- 22日 議会だより編集委員会

五月

- 12日 議会運営委員会
朝日町・白馬村議会議員連絡協議会総会



朝日町・白馬村議会議員連絡協議会総会
(5/12 朝日町役場)

- 14日 町村議会議長協議会
- 町村議会議長会臨時総会
(富山市)
- 18日 全員協議会
議員研修会

- 24日 東京朝日会総会(東京)
- 26～27日 全国町村議会議長・副議長
研修会(東京)

- 29日 議会運営委員会

六月

- 5日 第4回議会定例会本会議
(提案理由説明・細部説明・質疑)
- 8日 議会運営委員会
- 11日 本会議(代表・一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)

全員協議会

- 15日 総務産業常任委員会
- 16日 民生教育常任委員会
- 17日 総務産業常任委員会
- 19日 民生教育常任委員会

議会運営委員会
本会議(委員長報告・討論・採決)
議員協議会

項目	H27.4.1～6.30	
	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志・御酒	7	108,360
香典・生花・見舞	1	5,000
土産・贈答	0	0
負担金・会費	5	68,000
懇談会	0	0
賤別・激励・協賛金	2	10,000
その他	0	0
合計	15	191,360

議長交際費を公開します



東京朝日会総会(5/24 東京 学士会館)

編集後記



5月に「さ>郷ほたる交流館」、6月には「とやま朝日町北陸街道 五叉路 OOS T-ave」が相次いで竣工しました。いずれの施設も人々の交流を通じて町の活性化のために、地域住民の熱い思いや、町商工会、自治振興会の協力を得て運営される施設として出発しました。

先日「ほたる交流館」へ行ってきました。さっそく利用の団体があり、中で炊事をしているお母さんたち、外では講師の方が忙しそうにしておられました。利用者の人たちは山里の田んぼ道を散歩されていました。山に囲まれた緑鮮やかなさ>郷のすがすがしい空気と、人々の温かい人情に触れていただけたと思います。

「五叉路」も高齢化が進む町にあつて、買い物しやすい商業施設を中心に賑わうことが期待されます。

県内外の人々や町民の交流の場が完成したことで、梅雨空のうつつしさは晴ればれとした思いになりました。

◇議会だより編集委員

- 西岡 良則
- 長崎 智子
- 清水 真人
- 水野 仁士
- 荒尾 勇二